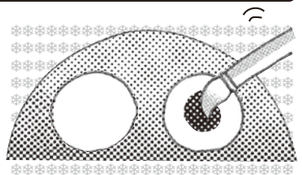
家族で読むページ



専門家庭教師の眼 2017 ❶

やれば確実に伸びる 算・国の勉強のコツ

協力 麻布個人指導会

進学塾の新年度がスタートして約2か月が経ちました。通塾の日数や宿題が増えたことによりペースがつかめず、なかなか思い通りに勉強が進められていないお子さんも多いのではないでしょうか。

そこで今年度最初の「専門家庭教師の眼」は麻布個人指導会の2名の講師に、この時期にやっておきたい算数と国語の勉強のポイントについて語ってもらいました。今やっておけば確実な伸びが期待できる、ベテラン講師ならではの勉強法のアドバイスは大いに役立つはずです。読み終えたらぜひ実行して、志望校合格に近づきましょう。

富永（とみなが） 恭子（きょうこ） 講師

麻布個人指導会を代表する女性理系講師の一人で、お子さんの現状を素早く把握して着実に成績を引き上げる力量を持つ。今年度4月より朝日小学生新聞にて、毎週火曜日に算数の学習欄の執筆を担当している。

最近の合格実績

桜蔭，女子学院，豊島岡女子，慶応中等部，慶応湘南藤沢，渋谷幕張，浦和明の星女子，青山学院中等部，鶴友学園，頌栄，東洋英和，普連土，横浜共立，横浜雙葉，洗足学園，広尾学園など。

算数　前学年の問題を解いてみよう 今ならたくさん○を取れます

●苦手な単元は6年生でもう1回出てくるときが挽回のチャンス

大手塾の多くは5年生までで一通り単元ごとの勉強を終え、6年生では各単元の応用問題をもう一巡して指導します。その際に理解できていなかった部分をしっかり押さえていけば、算数が伸び悩んでいるお子さんにも十分に挽回するチャンスがあります。

5年生まではそれぞれの単元がさらに細かく分けられています。例えば割合なら比、百分率、グラフの読み取りなど、だいたい3回くらいかけて学ぶことが多いです。しかし、塾によっては6年生で出てくるときには全て一緒になって〝割合〟として授業があります。ですから、苦手な単元だと1回さらりと授業を受けただけでは、もしかしたら腑に落ちて理解することはできないかも知れません。

●夏休み前の今だからこそ、戻って復習する勇気を持ちましょう

その場合にやってほしい勉強のやり方をご紹介いたします。私のお勧めは5年生のテキストと塾内テストの問題を改めて解くことです。やってみると、5年生のときには難しくてできなかった問題も、意外なほどすんなりできることがあります。もちろん全部できるほど甘くはありませんが、今はそのときよりも成長しているのですから、自信を持って繰り返し取り組んでほしいです。

しばしば「机に向かっている時間は長いが、はかどっていない」と相談されることがあります。私はやみくもに難易度の高い塾の宿題をこなすよりも、さかのぼって前学年の問題をやることの方がはるかに効果的だと思っています。夏休み前の今だからこそ、前を見るだけでなく、後ろに戻って復習する勇気を持ってもらいたいです。

●得意なお子さんは×を減らし、苦手なお子さんは○を増やす

次に、復習に取りかかる順番についてお話しいたします。算数の単元を大まかに分けると「速さ」「割合」「図形」「場合の数」の4つです。この中で、ある程度算数の成績が安定しているお子さんや上位校志望のお子さんの場合は、自分が苦手としている単元を克服することを目標として勉強するのがいいです。間違えた問題をじっくりと解き直して×の数を減らしていくやり方です。

算数を苦手としているお子さんの場合には、逆に最も点数が取れている単元から始めるようにしましょう。少々易しい問題であってもかまわないので、自分の力で解ける問題を中心にやって○の数を増やしていきます。とにかく確実に得点できる問題の数を増やして、自信を持てるようにすることが大切です。そういう単元を1つでもいいので作ってから、他を勉強した方が落ち着いて取り組めるものです。

●算数は意外と手を動かして作業することが大事な教科です

最後に、算数は直感やひらめきだけが重要ではなく、意外と手を動かして作業することが大事な教科であることをお伝えしたいです。問題文を読んですぐに解き方が浮かぶことは少なく、むしろ試行錯誤しながら道筋が見えてくることの方が多いのですから。

私は指導先の家庭で「きちんと書けば、いいことがたくさんある」とよく言います。なぜなら経験上、お子さんが書いて考えられるようになったら、もうその段階で伸びる兆候が見えていることが大半だからです。ですから、一見難しそうに思えても、じっと見つめているばかりではなく、例えば出てくる数字を書き出してみる、あるいは計算できそうなものから計算してみるなど、まず手を動かしてほしいです。特に場合の数などは、頭の中だけであれこれ法則を探すより、書き出してしまった方が圧倒的に早く糸口が見つかることも多いです。

最近の入試では解き方も書かせる中学校が増えています。答えが合っているかどうかだけでなく、途中式を要領よく書けるか、きちんと自分の考え方を表現できるかなどが問われて、重要性が増してきているのです。秋に過去問をやる時期になってから、いざ書こうと思っても一朝一夕には難しいでしょうから、今から意識して少しずつ準備しておきましょう。

竹中（たけなか） 大示（だいじ） 講師

国語を中心に4教科の指導に対応できる貴重な存在の講師。上位校志望の受験生から伸び悩んでいる4・5年生まで幅広く活躍している。温厚で面倒見がよく、女子にも人気があり、連日熱の入った授業を展開している。

最近の合格実績

開成，駒場東邦，早稲田実業，慶応中等部，渋谷幕張，渋谷渋谷，海城，芝，城北，明大中野，頌栄，大妻，共立女子，山脇，跡見，江戸川女子，広尾学園，高輪，獨協など。

国語　組分けテストや公開模試は、これでぐっと得点が伸びます

●お子さんが問題を解いている様子を見てみましょう

この時期は、塾の組分けテストや公開模試で「試験時間が足りなかった」という声をよく耳にします。お子さんによっては記号で答える問題でさえも空欄にしている場合があります。テストでは全体で何点取るかが勝負なのですから、全ての問題に目を通して、できる問題でしっかり得点することが大切です。時間がなくて手を付けられなかった問題も後で見直したらできた、という悔しい経験もあるのではないでしょうか。

時間が足りなくなるお子さんは、どこで時間をロスしているのか知っておくといいです。しかし、テストは夢中になって取り組みますから、自分では気付けないものです。そこで、できればご父母の方にお子さんが宿題などを解いている様子を見ていただきたいです。すると、例えば文章を一読するのに非常に時間がかかっている、あるいは記述で何度も書き直している、など見えてくるものがあるはずです。今後、時間不足になってしまうことを繰り返さないように、この時期だからこそ原因を突き止めて解決しておきましょう。

●分からない言葉はその日のうちに調べるクセをつけておこう

では次に、先ほどのよく見受けられる状況を打開するための具体的な勉強法をお話しいたします。読むのに時間がかかるお子さんは、まずは語い力を鍛えましょう。分からない言葉だらけでは、いくら繰り返し読む練習をしてもスムーズに読み進められません。そこで、学校や塾の授業で分からない言葉が出てきたら、その日のうちに調べるクセをつけてほしいです。

その際、私の経験では、自分で辞書を引いて調べた方が記憶に残りやすいと思います。辞書は小学生用のものを使うといいでしょう。広辞苑など一般の辞書では、せっかく調べてもそこに書いてある説明が難しすぎる場合があるからです。一方で、小学生用の辞書はイラストがあったり、例文も易しくて理解しやすいです。加えて、対義語や類義語のある言葉であればそれも必ず載っているので、確実に押さえておきましょう。

●記述は最初にピンときた感覚を大切にして書き直しはほどほどに

記述問題については、書き始めた文を途中で全部消し、書き直す作業に最も時間がかかります。ですから、書き直すのはせいぜい2回までにしておきましょう。それ以上はさらに時間がかかる上にあせりも出てくるので、せっかく頑張ってもそれほど得点に結びつかないことも多いからです。

ある公開模試において70文字以内で記述する問題があり、私が指導していたお子さんはわずか14文字の解答でした。ところが、これで10点の配点で半分の5点が取れたのです。

もちろん実際の入試での採点基準は中学校によって違うのですが、ここで申し上げたいのは、きちんとポイントを押さえられていれば得点になる、ということです。

さらに私は最初にピンときた感覚が大切だと思っています。書くことは苦手だとしても、どこが大事かは分かっているお子さんはけっこういます。ですから「これだ！」と思ったことを思い切りよく書く。書いたら少々短くても書き直しはほどほどにしておく。記述ではこの2つを意識するとずいぶんやりやすくなると思います。

●見直しはうっかりミスに気付くことを目的としましょう

実際のテストで最初と最後にぜひやってほしいこともお話しいたします。多くのテストでは2種類の長い文章があって、その読解問題と漢字・ことわざ・慣用句などの知識問題で構成されています。まずは配られた解答用紙をじっと見てみましょう。

おおよそ解答用紙の面積と解答にかかる時間は比例しています。そこで例えば試験時間が50分で、2つの読解問題の解答欄の広さが半々くらいなら、読解に20分ずつで知識と見直しに10分かけよう、などと最初に必ず〝あたり〟をつけておくのです。こうすることで、全ての問題に目を通せず、できる問題を見逃してしまうことを減らせます。

見直しでは設問で聞かれていることと、自分の答え方が合っているかをもう一度確認します。例えば選択肢の問題では適当なものを選ぶのか、適当でないものを選ぶのか、記述なら理由を答えるのか、説明するのか、文末表現はそれらに合っているかなどです。要は、見直しは本格的に解き直すことが目的ではなく、うっかりミスに気付くためのものです。プラス5点のためにと思って、集中力を切らさずやってみましょう。

教務の現場から❷

●大手塾の入試報告会で改めて感じたこと

各大手塾の2017年度の中学入試を総括した入試報告会が、3月の初旬から中旬にかけて連日のように行われました。保護者の方が対象ですから、参加された方もいらっしゃるのではないでしょうか。

さて、今年は私も可能な限り会場へ足を運んでみたのですが、そこに保護者に混じって参加している当会の家庭教師の姿がありました。指導に活かせるように最新の入試情報を得るため、入試問題の傾向を研究するために参加するのです。

数名の講師と会ったのですが、いずれの講師も指導歴の長いベテランで、活躍している講師でした。私はその様子を見て改めて感じました。子どもの勉強は日々の努力の積み重ねが大切―しかし、それは指導する講師にとっても変わらないのだと。向上心を持って事に当たることが実力アップにつながるのですね。

教務：井口

学生は一切派遣していません

創立31年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

一人ひとりの合格こそが実績です！ 合格者のべ690名

2017年度　中学合格実績（五十音順）

男子 =123校のべ358名の輝くゴール=

青山学院	2名	聖光学院	4名
浅野	4名	成城	5名
麻布	5名	世田谷学園	5名
市川	9名	専修大松戸	5名
栄光学園	2名	高輪	7名
江戸川取手	3名	中央大附属	3名
海城	9名	筑波大駒場	2名
開成	4名	東京都市大付属	6名
開智	4名	東京農大一	2名
学習院	6名	桐朋	5名
鎌倉学園	3名	東邦大東邦	8名
暁星	2名	獨協	6名
慶応湘南藤沢	2名	日大二	2名
慶応中等部	2名	広尾学園	6名
慶応普通部	3名	法政大学	3名
攻玉社	6名	法政第二	3名
国学院久我山	4名	本郷	6名
駒場東邦	6名	武蔵	2名
栄東	13名	明大明治	2名
サレジオ学院	3名	ラ・サール	4名
芝	8名	立教池袋	3名
渋谷教育渋谷	3名	立教新座	7名
渋谷教育幕張	4名	早稲田	6名
城北	6名	早稲田高等学院	2名
巣鴨	5名	早稲田実業	1名
逗子開成	3名	公立一貫校	5名
成蹊	2名	他多数合格	

（本年度男子受験生の実数は101名です）

女子 =124校のべ332名の輝くゴール=

青山学院	3名	頌栄女子学院	4名
青山横浜英和	4名	女子学院	5名
跡見学園	4名	白百合学園	3名
市川	7名	成蹊	3名
浦和明の星	7名	洗足学園	4名
桜蔭	4名	専修大松戸	4名
鶴友学園	6名	中央大附属	2名
大妻	4名	中央大附属横浜	3名
大妻中野	4名	東京女学館	5名
開智	3名	東邦大東邦	7名
学習院女子	5名	東洋英和	5名
鎌倉女学院	3名	豊島岡女子	6名
吉祥女子	5名	日本女子大附属	4名
共立女子	4名	広尾学園	4名
慶応湘南藤沢	2名	フェリス女学院	2名
慶応中等部	2名	富士見	4名
恵泉女学園	4名	雙葉	3名
光塩女子学院	2名	普連土学園	4名
晃華学園	4名	三輪田学園	3名
国府台女子	3名	明大明治	4名
香蘭女学校	4名	山脇学園	5名
国学院久我山	3名	横浜共立	3名
栄東	9名	横浜雙葉	3名
実践女子学園	4名	立教女学院	3名
品川女子学院	3名	早稲田実業	2名
渋谷教育渋谷	3名	公立一貫校	5名
渋谷教育幕張	2名	他多数合格	

（本年度女子受験生の実数は87名です）

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。

憧れの第一志望校への合格
専門家庭教師が実現させます

専門家庭教師の指導・知識・経験をお役立て下さい

入会の制約のない体験授業

入会は前提ではありません。また事前に申込書にご記入や、費用をいただいたりすることはありません。

■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業の後でも入会を見送ることができます。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■体験授業といえども実りある指導にするため打ち合わせをします。
■万一の場合には別の講師を人選し、再度体験授業を受けられます。

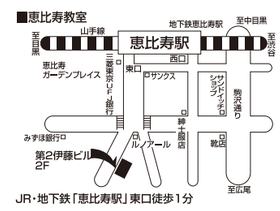
指導料は完全な後払い

●入会金 20,000円（税別）　一家庭無期限有効
●月額指導料 48,000円～72,000円（税別）
［週1回（各2時間）の授業で月4回の場合］
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。
※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。

○入会金は体験授業でご納得いただいた後でご請求いたします。
○指導料は月単位の完全な後払いです。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費のみで、管理費等の不明瞭な費用はありません。
○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。
○指導開始後も、多くの学校に受験生を送り込んできた当会の教務が受験校のご相談など、さまざまなサポートをさせていただきます。

中学受験専門教師による個人指導教室併設

圧迫感のない広い個人別の空間で完全1対1の指導をします。専門教師の指導とゆったりした学習環境の理想的な組み合わせを実現しました。



講師の交代について

指導開始後に講師と相性が合わない、あるいは成績が上がらない、などの不安を感じた場合は遠慮なく教務にご相談下さい。速やかに講師を交代いたします。もちろん費用は一切かかりません。

講師の交代をきっかけに成績が上がる例も多くあります。31年間の蓄積で当会の専門家庭教師の層は厚く、後任となる講師の実力が劣ることはありません。

また、交代の場合にも体験授業がありますので、ご安心下さい。

家庭教師センターの比較・格付けランキングサイト等に対する当会の姿勢

これらの比較サイトは家庭教師派遣会社の質は重視されずに、サイトの運営業者に支払った手数料の多寡が重視されてランキングされているように思えます。また運営業者の家庭教師派遣業界に対する知識や見識にも疑問を呈さざるを得ません。

よって当会は家庭教師の比較サイト等には現在の時点での参加は全く考えていません。

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から 0120-14-3004
《受付時間》11：00～20：00（日・祝除く）　※ナンバーディスプレイは使用していません。お気軽にお問い合わせ下さい。
●携帯電話から ☎03-3440-1940
●HPで最新情報更新中
麻布個人指導会　検索
〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F